

内閣総理大臣 安倍 晋三 様

外務大臣 河野 太郎 様

北朝鮮の核実験に強く抗議します  
国は被爆国として対話による解決に尽力してください

被爆者は、満身の怒りをこめて北朝鮮の核実験に抗議します。7月7日採択された核兵器禁止条約は核兵器の実験、使用はおろか威嚇も禁止しています。核兵器の禁止は今や世界の潮流です。今回の北朝鮮の核実験は、この潮流に背を向け、後戻りさせる暴挙であり、断じて容認できません。

広島・長崎に投下された原爆は、一瞬にして街を壊滅し、多くの命を奪いました。それは、この世の出来事とは信じられない生き地獄でした。かろうじて生き延びた被爆者も熱線、爆風、放射線を受け、いのち、からだ、くらし、こころに受けた傷は深く、その苦しみは72年経った今も続いています。

私たち被爆者は、アメリカの原爆投下を許しません。しかし、報復を求めたことはありません。地球上の誰にも同じ苦しみを味わわせてはなりません。「核戦争を起こすな」、「核兵器をなくせ」このことばは、ふたたび被爆者をつくるなという被爆者の願いです。いかなる国の核実験、使用、威嚇も認めません。

被爆者は、核実験に抗議し、日本政府に要求します。

1. 唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約に署名し、批准すること。
2. 唯一の戦争被爆国として、また国際紛争の解決を武力によらないことを定めた憲法を持つ国として、同盟国アメリカおよび隣国北朝鮮に対して、対話による解決がはかれるよう尽力すること。

2017年9月13日  
宮城県原爆被害者の会  
ヒバクシャ国際署名連絡会宮城  
会長 炭谷 良夫